



# オリーブ便り Olive News

2021.08.01

No. 446



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 田宮 隆

基本  
理念

患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

## 新任挨拶

### 信頼される外科医として高度で良質な医療を

香川大学医学部附属病院 消化器外科 診療科長 岡野 圭一



令和3年4月1日付けで消化器外科診療科長を拝命いたしました。消化器外科が担当する領域は多岐に及び食道・胃・大腸・肝胆膵などにおけるがん治療から腹部の救急疾患・外傷診療などを行っています。また、大学病院の使命として、難治癌に対する高難度手術・移植医療・低侵襲外科治療などのすべてにおいて常に最良の医療を提供できるように取り組んでいます。

私自身が診療において大切にしていることは、患者さんやご家族に寄り添い、周りの医療スタッフからも信頼され、安心して手術を受けていただけるような体制や環境を作ることです。

私は平成4年に本学を卒業して外科医となり、その後の多くの期間、本学で診療・研究・教育を担当させて頂きました。その経験から我々が取り組むべき課題や地域の皆様から求められていることも、理解できていると思っていますので、今後さらにしっかりと取り組んでまいります。

特に難治癌の代表格である膵癌の治療成績向上や、四国地域の拠点となっている膵腎移植、今後の大きな発展が期待されるロボット手術などには重点的に取り組んでまいります。これまで支えていただいた皆様方に感謝するとともに、今後は、地域の外科医療を支え、明日を切り拓く外科医を育成していくことにも力を注いでいきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

### 遺伝医療をもっと身近に！

香川大学医学部附属病院 臨床遺伝ゲノム診療科 診療科長 隈元 謙介



令和3年6月1日付けで臨床遺伝ゲノム診療科の科長を拝命いたしました隈元謙介と申します。昨今の急速な遺伝子解析技術の発展が日常診療に大きな変革をもたらし、がんをはじめ様々な病気の診断・治療に続々と遺伝子検査が導入されています。当科はこうした遺伝診療の革新的な進歩に迅速に対応するため、従来の診療科の枠を超えて様々な遺伝に関わる病気で不安を抱えている方や詳しい情報を知りたい方に気軽に

相談していただけるように新たに設置されました。

遺伝情報は我々の身体を構成する約37兆個の細胞すべてに刻まれています。わずかな遺伝子の配列の違いは、個人間の外見や体質の違いに関与しているだけでなく、病気のかかりやすさや薬の効果・副作用にも関与しています。大腸がんや乳がんをはじめ子宮がん、卵巣がん、膵がん、前立腺がんなど様々ながんの原因となる一部に遺伝が関係していることが知られています。また、遺伝子や染色体が関係して生まれながら症状を呈する病気には適切な診断とその後の対応が必要になります。遺伝の病気というと親や血縁者に同じ病気にかかった方がいて次の世代に受け継がれるというイメージが強いですが、周りにいなくても自分が最初ということもあります。家系的にがんの方が多くて遺伝をご心配される方、お子様に遺伝しないかご心配な方、遺伝病だといわれて今後のことがご心配な方、身内に遺伝病と診断された方がいて自分も同じ病気ではないかとご心配な方…まずは相談してください。当科は、消化器外科、周産期科女性診療科、小児科、脳神経内科、循環器内科、腫瘍内科など各専門領域のスタッフが、遺伝カウンセリングを通して、対象となる様々な遺伝性疾患の最新情報を提供するとともに遺伝に対する不安を解消できるようにサポートして参ります。遺伝医療をもっと身近に感じていただけるような環境づくりに努めて参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

### 科長の横顔

#### 座右の銘、ポリシー

ポリシーというほどではありませんが、年を経るにつれ、物事をなるべく多方面から考えるようになりました。小児外科の病気は安易な判断をすると容易に間違った方向へ進んでしまうため、自然とそのような考え方になったのだらうと思います。

「小さいお子さんの手術は大変ですね」と聞かれることもありますが、大学病院の特徴でもある教育や研究業務も担当しながら、私自身はむしろ年齢を経てより充実してくるようになりました。

#### 診療科紹介

小児外科は病気の場所や種類が多く、しかもそれぞれの症例数は限られているため小児外科医が成長するためのラーニングカーブは比較的長い、と言われております。また、私たちはとても小さな赤ちゃんから大人と同じくらいの中학생まで手術を行います。その子どもたちが大人になり、次の世代を育み、一生をみていく中で小児外科医である私たちも成長していく。そのような診療科ではないか、と思います。



香川大学医学部附属病院  
小児外科  
診療科長 下野 隆一

### 師長の横顔

#### 座右の銘、ポリシー

「人との縁は、自分にとって必要な時につながっている」常々そう感じています。実際、わたしが健康で楽しく働くことができているのは、周りの友人、家族、スタッフのおかげだと感謝しています。また、病気と闘っている子どもたちやご家族の方からもたくさんのことを学ばせてもらっています。これからも人との出会い、縁を大切にしたいと思っています。

#### 病棟紹介

東病棟2階は、小児病棟です。0歳から15歳までの子どもたちが入院しています。小児がんや難治性の疾患で長期に及ぶ入院治療を余儀なくされている児も少なくありません。また、手術目的での入院、緊急で手術となる場合もあります。本人・家族の不安や心配が強い中で、インフォームド・コンセントとともに、治療を受けるのは子どもであり、インフォームド・アセントも重要となります。私たちは、子どもたちの病気を乗り越える力を信じ、スタッフみんなで子どもたちに向き合っていきたいと思います。



香川大学医学部附属病院  
東病棟2階  
看護師長 平木 久美子



小児外科スタッフ集合写真



東病棟2階スタッフ集合写真

## 七夕かざりを病院に設置しました

香川大学医学部 医療支援課

令和3年7月1日～7月8日まで病院外来中央診療棟1階総合地域医療連携センター前廊下に「七夕かざり」を飾りました。

色とりどりの花々と数多くの願いが書かれた短冊が風になびいて、ひとときの涼を提供することができました。

「みなさまの願いがかないますように。」

今年こそ新型コロナウイルス感染症が  
収束・過去のものとなり  
コロナ過となりますように・・・。



(財)誠恵様からご支援をいただいております。

## 肺がんへの第5の矢 免疫療法

香川大学医学部附属病院 呼吸器内科 講師 金地 伸拓

皆様、がんに対する免疫療法ってご存知ですか?2018年のノーベル医学生理学賞を授与された本庶佑先生は、免疫を担う細胞(がんをやっつける力のある細胞)にブレーキの役割をもつPD-1という分子を発見しました。PD-1の働きを抑えることで私たちの体が本来持っている免疫力(がんをやっつける力)を発揮できることが判明しました。これががんに対する画期的な治療法である免疫療法です。肺がんの話をしてしまうと、従来、手術、放射線、抗がん剤、分子標的薬の4つが治療の中心でしたが、第5の矢として免疫療法という新たな武器を得たのです。

免疫療法の威力には驚かされます。私が担当した転移が多数ある肺がん患者さんは免疫療法のみで完全にがんが消失しました。進行肺がんであっても、治癒が期待できる場合があることを実感しています。ひと昔前では考えられない効果です。しかし免疫療法も万能ではありません。実は効果が全く出ない人が多くいます。PD-L1という分子が少ない場合、効果が出にくいです。また、全身状態が悪い(生活に介助を要する)場合、効果が出にくいです。免疫力が上がることによりホルモン異常など特殊な副作用が出ることもあります。間質性肺炎などの合併症があれば、悪化する可能性もありますので、免疫療法が適しているかどうか、慎重な判断を要します。高額な費用がかかるのも問題です。しかし、保険診療で行われますし、高額医療制度により一定額以上の自己負担は不要です。

現在肺がんの他にも多くの悪性腫瘍において免疫療法が承認されています。免疫療法はそれぞれの領域で従来の治療法を大きく上回る治療効果をもたらしています。しかし多くの病気に共通していることは治療よりも発症予防と早期発見が重要ということです。肺がんでは、禁煙が発症予防に最も重要です。早期肺がんは進行肺がんと比較して圧倒的に治癒する可能性が高いです。

医学・医療は常に進歩しています。近い将来第6の矢が世に出てくるでしょう。辛抱強く治療を受けることでその恩恵にあずかる日がくるかもしれません。患者さんと一緒に進行肺がんでもほぼ全員が治癒する日が来ることを夢見しています。

毎日新聞「四国健康ナビ」2020年9月1日掲載分

5月1日より新テーマ放送

イキイキさめき健康塾  
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

8月のテーマ 「まさか!私が低栄養?歳をとってもしっかり食べないといけないんだって」  
9月のテーマ 「腎細胞がんのお話」

詳しくはこちら



## アメニティー施設を整備しました

香川大学医学部 医事課・医療支援課

昨年度、病院再開発終了後の更なる患者サービス向上のため、以下のアメニティー設備を整備しました。

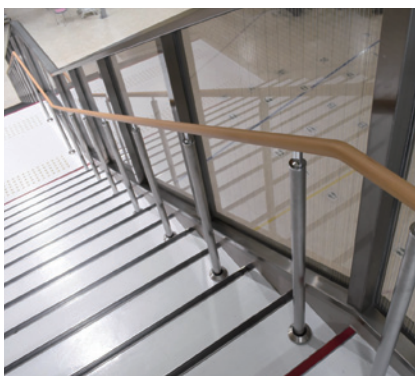
- ① 病院中庭でくつろげるスペース確保のためのテーブル・ベンチ
- ② 病院玄関前に自動車乗り降り時の雨よけのためのカーポート
- ③ 病院玄関中央階段に転倒防止のための補助すりすり
- ④ 外来中央診療棟に暑さ対策等のための遮光カーテン



①中庭 テーブル・ベンチ



②玄関前 カーポート



③玄関中央階段 補助すりすり



④外来中央診療棟 遮光カーテン

## 臨床研究に関するご案内

香川大学医学部

倫理委員会委員長

治験審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院

臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

## イベントカレンダー 2021.8~2021.9月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
9/5 日	13:30~16:20 (開場13:20)	サンサン館みき 2階 第1・第2会議室	市民公開講座 -2021年度 肝がん撲滅運動-	消化器・ 神経内科学	(087)891- 2156・2157

編集委員会 (50音順)

(2021年7月現在)

阿部(看護)、井町(外来)、木内(検査)、小坂(薬剤)、圖子(管理)、筒井(経営企画)、常森(病棟)、仁尾(医療支援)、南野(副病院長)、門田(放射線)、横井(医療情報)、横川(総務)、和氣(医事) [委員長 田宮病院長]